

2009年5月19日

従業員各位

人事課

速乾性手洗消毒剤の設置について

標題の件、今般新型インフルエンザ予防の一つと致しまして、トイレに速乾性手洗消毒剤を設置致しました。インフルエンザウイルスはかぜのウイルスより感染力が強いため、咳やくしゃみで出た飛沫を直接吸込んで感染することが多いようですが、飛沫で汚染された手指や物、周囲環境の表面から手を介する接触感染も経路のひとつです。

インフルエンザの流行時期には、電車の吊革や公衆電話の受話器、ドアノブなどから多くのウイルスがよく分離され、ドアの取っ手、テーブルの表面で2時間あるいはそれ以上の時間、ウイルスは感染性をもっていることが知られています。

手洗いは、ふたつの観点から、インフルエンザの感染防止に重要です。自分が感染していない場合、手洗いによって手指を介する接触感染を防ぐことができます。また自分が感染(発症)している場合は、汚染された手指を介する周囲環境を汚染を抑えて、接触感染によって周りの人に広がるのを防ぐことができます。

以上のように感染予防における手洗いの効果は高いので、外出した際は必ず手洗いの励行をお願い致します。

手洗いのタイミング

帰宅時

トイレの後

食品を取り扱う時

食事の前

咳やくしゃみを手で押さえた後

以上